

令和4年度 地域公共交通計画の評価結果 概要（全体）

春日井市地域公共交通会議 （春日井市）

平成27年 4月 1日設置

令和 3年 1月 春日井市地域公共交通計画策定
（計画期間：令和 3年度～令和 7年度）

令和 5年 1月 令和 3年度・4年度 評価結果送付

1.【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿

特長

- ・鉄道や路線バスなどの利便性の高い公共交通
→ 4路線の鉄道や路線バス、かすがいシティバス（コミュニティバス）
- ・名古屋圏を代表する住宅都市
→ 名古屋市を經由した広域の移動、都市間をまたぐ通勤通学

課題

- ・人口減少や高齢化の進行
→ 鉄道駅周辺等で都市機能を集積させ、多くの人でにぎわうまちづくり
→ まちづくりを支える交通サービスの提供
- ・市の継続的な発展
→ 子育て世代から定住の場として選んでもらえるような魅力の創造
→ 自家用車を過度に使わなくても快適に暮らせる都市の構築

基本理念

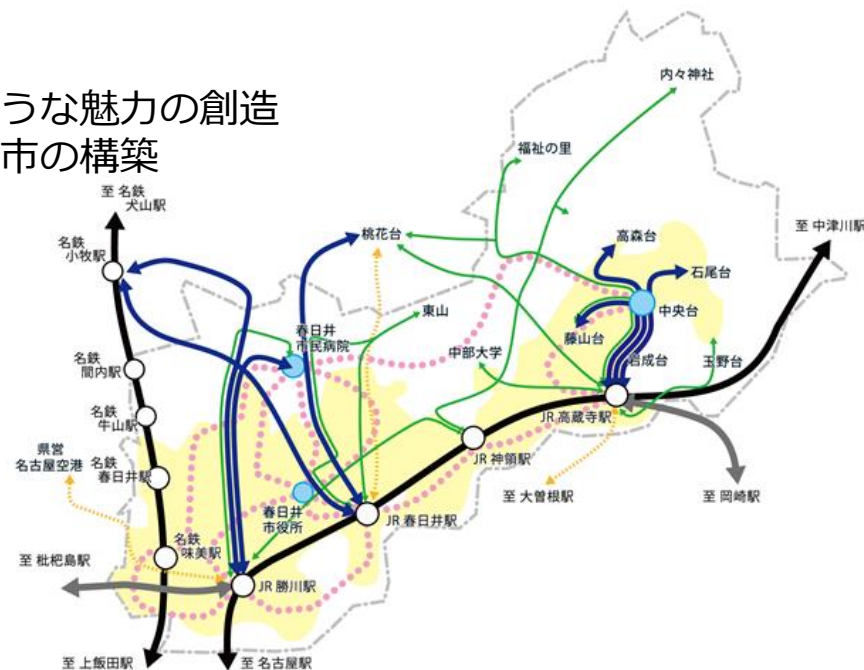
心地よくつながる公共交通網
～より暮らしやすい“ライフタウン”春日井へ～

基本方針

目標1
鉄道とバスによる利便性の高い公共交通網の形成

目標2
多様な交通の組み合わせによる市民の移動手段の確保

目標3
みんなで支える公共交通の体制づくり



	基幹路線		都市間連絡バス路線
	準基幹路線		地域生活バス路線
	基幹的なバス路線		主な駅
	地域間連絡バス路線		主なバス停

	居住誘導区域
--	--------

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

かすがいシティバス路線の見直し

- ・一周に多くの時間をかけていた東環状線を2路線に分離
- ・地域住民主体の検討会を立ち上げ、利用が少ない路線を廃止し、代替手段として北部オンデマンドバスの運行開始

	利用者数(人)
見直し前 R2.10~R3.9	255,699 (4路線)
見直し後 R3.10~R4.9	268,689 (4路線+北部オンデマンドバス)



- ・1か月定額料金で乗り放題になる定期券と、別路線への乗換の料金が無料になる乗継券の発行を開始

石尾台おでかけサービス

- ・名古屋大学や関係機関と連携し、高齢者の移動支援としてゴルフカートによるゆっくり自動運転の実証実験を令和元年度から実施
- ・令和4年10月からは住民主体のNPO法人による本格運行を開始
- ・当面は手動で運行

	利用者数(人)
R4.10	105
R4.11	106
R4.12	87
計	298



名鉄味美駅のバリアフリー化

- ・障がい者対応型トイレの設置
- ・踏切の歩車分離を実施



3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

評価指標		計画策定時	R7年度目標値	R3評価	R4評価	考察
乗降客数3,000人/日以上の駅のバリアフリー化率	%	66	100	83	83	名鉄春日井駅の整備で100%になる
市内バスの年間利用者数	千人	5,403	5,414	3,796 (R2実績)	4,057 (R3実績)	新型コロナウイルスにより利用者減少 R3評価と比較して7%上昇
公共交通の人口カバー率	%	93	95	93	94	R3は93.1%、R4は93.6% 北部オンデマンドバス乗降ポイント追加により上昇
公共交通の高齢者人口カバー率	%	83	85	83	83	R3は82.8%、R4は83.1% 北部オンデマンドバス乗降ポイント追加により上昇
シティバスの収支率	%	23	23	14.7 (R2実績)	13.8 (R3実績)	新型コロナウイルスにより利用者減少 北部オンデマンドバス運行経費の発生 かすがいシティバス人件費増加
交通の利便に対する満足度	5点満点	2.53	2.80	-	2.86 (R3調査)	R3市民意識調査実施 5点満点の平均値を計測 目標達成
地域に即した新しい移動手段の実施数	件	0	5	1	2	R3年度北部オンデマンドバス R4年度石尾台ゆっくりカート 運行開始
バスを利用した市民の割合	%	28	31	-	-	アンケート調査未実施 令和7年度実施予定
バスを利用した高齢者の割合	%	29	35	-	-	アンケート調査未実施 令和7年度実施予定

4. 【Act】 計画目標の達成に向けた今後の取組方針の作成

取組 1

<市内バスの年間利用者及びシティバスの収支率の増加>

- 市内一部対象地域及び市内全域に行動変容を促すモビリティ・マネジメント事業の実施

市内全域及び特定の地域で公共交通の利用を促す事業（モビリティ・マネジメント）を令和4年度から令和6年度にかけて実施中。ワークショップの開催や、関係者へのヒアリング、啓発チラシの作成配布など、行動変容を促す取組を実施していく。



- 地域住民の外出支援を目的に小型車両による新たな輸送サービスの実証実験の実施（名鉄バス株式会社）

高齢者を中心とした外出支援や需要喚起を図る目的に小型車両を用いて団地内を周回し、商業施設や病院へ向かう実証実験運行を実施中。運行経路や各停留所は地域住民と連携して決定。今後の本格運行に向けて引き続き地域住民と協力し、地域のニーズを満たす路線の構築を行っていく。



取組 2

<地域に即した新しい移動手段の実施数の向上>

- 高蔵寺ニュータウン全域をオンデマンドタクシーで移動可能にする実証実験の実施

既存公共交通を補完する交通サービスとして、地元タクシー事業者と協力し、高蔵寺オンデマンド乗合サービスの実証実験を実施中。持続可能なサービススキームの構築に向けて引き続き協議を進める。



年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回			
前々回			

※令和4年度現在評価を受けたことがありません。

実施項目	2020年度 (令和2年度)	計画期間					次期計画
		2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	
Plan (計画)	→ 計画策定		○ 改訂 <small>(必要に応じて)</small>	○ 改訂 <small>(必要に応じて)</small>	○ 改訂 <small>(必要に応じて)</small>	→ 次期計画策定	
Do (実施)		→ 施策の実施	→ 施策の実施	→ 施策の実施	→ 施策の実施	→ 施策の実施	→
Check (評価)		● 評価 <small>(進捗・課題)</small>	● 評価 <small>(進捗・課題)</small>	● 評価 <small>(進捗・課題)</small>	● 評価 <small>(進捗・課題)</small>	● 評価 <small>(進捗・課題)</small>	
Action (改善)			● 改善策 の検討	● 改善策 の検討	● 改善策 の検討	● 計画の 見直し検討	

▲
立地適正化計画の
中間評価と整合

▲
高蔵寺リ・ニュータウン計画
の評価・見直しと整合

令和4年度の地域公共交通会議

第1回（令和4年8月24日）

- ・ 自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）の新規登録について
- ・ 高蔵寺ニュータウンにおける交通に関する取組について
- ・ 高蔵寺ミニバス試験運行の実施について

第2回（令和5年1月24日）

- ・ 自家用有償旅客運送の運行の対価の変更について
- ・ 春日井市地域公共交通計画の実施状況について
- ・ サンマルシェ循環バスの見直しについて